

社会福祉施設における人力運搬機を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

| 2017年発生月 | 時間 | 死傷災害発生事例 | 年齢 | 労働者規模 |
|----------|-------|--|----|-------|
| 1 | 10～11 | 事務所近くの歩道にて自転車走行中に歩道中央に設置してあるポールに気付かず衝突し左膝を負傷した。 | 60 | 1～9 |
| 1 | 8～9 | 訪問介護サービスにて、事業所から現場へ電動自転車で移動中（小雨で路面は濡れていた）、坂道に入るため左へカーブした際、スリップして転倒しそうになり、左足で踏ん張ったが踏ん張りきれず転倒し、左足が自転車の下敷きになり負傷した（左足関節脱臼骨折）。 | 53 | 1～9 |
| 1 | 16～17 | デイサービスの介護職員である被災者は、外出レクリエーションでセンターのイベントに、利用者の方をお連れした際、4Fのイベント会場からエレベーターで下るとき、エレベーターの開閉作業を行っていた。利用者の一人が、車いすに乗っている他の利用者の車いすを押してエレベーターに乗る手伝いをしてくれた際、右足を車いすで轢かれ負傷した。 | 55 | 1～9 |
| 2 | 17～18 | 利用者のケアを終え自転車で移動中、歩道を右側からスピードを出した自転車に出会い頭衝突し、自車は右側に転倒し右肘と腰部を打撲する。 | 35 | 10～29 |
| 2 | 11～12 | 訪問介護利用者宅に向かうため、自転車で走行中にトラックが猫か何かを避けようとして激突した。 | 26 | — |
| 2 | 17～18 | デイサービス利用者を自宅へ送り届ける際、車椅子に乗せたまま玄関前設置の段差解消スロープを上がる時に、車椅子のティッピングレバーに右脚をかけ、左足を後方に置いて、前輪を上げる動作の為、右足を踏み込んだ。その際、左足のふくらはぎに力が入り、「ブチッ」と音がし、急激な痛みが走った。 | 46 | — |

| | | | | |
|---|-------|---|----|---------|
| 2 | 15~16 | 自転車で走行中、バランスを崩し右方へ転倒し、左示指骨折と左前頭部打撲を負った。 | 32 | 1~9 |
| 2 | 11~12 | 当社営業所デイサービス施設浴室内で、利用者の入浴介助のため腰をかがんで前屈の姿勢で機械浴用イスのフットレストを持ち上げる時に、腰に強い痛みが走り負傷した。 | 43 | 30~49 |
| 2 | 14~15 | ご利用者の入浴介助のために、浴室からご利用者居室へストレッチャー（約20kg）を運んでいたところ、自分の右足親指の上にストレッチャーの前タイヤが乗ってしまふ。痛み、出血があったが、自分でガーゼで保護し業務を続けた。約3ヵ月後、右足親指から膿が出て、青紫色に変色していたため皮膚科を受診する。飲み薬で軟膏の処方があったが、1ヶ月経っても効果がなく、整形外科へ受診し、右母指挫創陥入爪と診断される。 | 22 | 100~299 |
| 2 | 13~14 | 園庭にて、子供達の外遊びを監督中に、後方から三輪車に乗った子供に激突され、そのまま後方に倒れた。その際に、膝の裏を打撲した。 | 50 | 30~49 |
| 2 | 16~17 | デイサービスの利用者を自宅に送って行った時に、車のトランクからシルバーカーを出し、押そうとしたらロックが掛かっていた為、そのまま、顔から転倒した。 | 45 | 30~49 |
| 3 | 18~19 | 入居者の室内トイレにて入居者を便座から車椅子へ移乗後、フットレストへの移乗介助を行っていたところ、入居者が車椅子の車輪ロックを自分で外し、車椅子が動いて右足の薬指と小指を踏んで通過した。帰宅後に痛みと腫れがあり、LP関節挫傷との診断を受けた。 | 40 | 50~99 |
| 3 | 15~16 | 利用者宅へ自転車で移動中、横断歩道を横断しようとした際、自転車を降りて車の通行が途切れるのを待っているとき、駅方向から来た車が停車したため、自転車を押して横断を始めた。そのあと道路の4分の1程進んだところで、駅方向から来た自転車と衝突して転倒し、右腕を骨折した。 | 55 | 300~499 |
| 3 | 17~18 | 利用者宅で業務中に、利用者の家族（認知症あり）が外に出ようとするのを制止している際に、玄関にある歩行器のタイヤに躓き転倒し、右膝を床に強打し負傷した。 | 55 | 500~999 |

| | | | | |
|---|-----------|---|----|----------|
| 3 | 8~9 | 厨房内で温冷配膳車の位置を移動させようと操作中、操作を誤り強くレバーを握った為、その反動で自身のレバーを持っていた右手が左腹部を強打し、左第7第8肋骨を骨折した。 | 53 | ~ 99 |
| 3 | 8~9 | 職場の共有スペースにて食事の配膳車を返却しようとした際に、腰部に強い痛みが出て、急に歩行や立ち上がりが出来なくなった。 | 28 | ~ 99 |
| 4 | 10~ 11 | 報告書提出の為に訪問先から事務所へ移動の途中、自転車同士で衝突し、腰を圧迫骨折した。（自身が右折しようとしたところ、後から走ってきた直進する自転車とぶつかった。） | 61 | ~ 299 |
| 4 | 17~ 18 | 利用者宅へ訪問するため自転車で走行中、マンション敷地内の下り坂にて地面のタイルが雨で濡れていたため、スリップして転倒し、右膝を地面に強打した。 | 66 | ~ 99 |
| 4 | 11~ 12 | 路上にて、介護保険サービス利用者宅より自転車にて当施設に戻る際に車道と歩道との段差でバランスを失い転倒し、左手と右足を負傷した。 | 61 | ~ 49 |
| 4 | 10~ 11 | 雨天時、利用者宅から利用者宅へ電動自転車で移動中、車道を走行していたが後ろから車がきたので歩道へ入ろうとしたところ、タイヤが滑って転倒し、右目下、右膝、両手を負傷した。 | 43 | ~ 29 |
| 5 | 16~ 17 | 運営施設から事務所へ自転車で移動中、交差点にて自転車に跨った状態で信号待ちをしており、ペダルを踏み込んだ際に縁石に左足の甲を強く打った。 | 23 | ~ 99 |
| 5 | 8~9 | 移動支援でお客様を学校まで送り届けた後、自転車を学童まで置きに戻る途中、道幅の狭い道で、人をすり抜けながら走ってきた自転車の高校生とぶつかった。高校生の自転車のハンドルかブレーキ部分が右手中指と薬指の間にはまり、手の甲にかけて裂傷、左足打撲し、アザを負った。尚、高校生は急いでいたため、名前を聞くのが精一杯な状況であった。 | 69 | ~ 299 |
| 5 | 16~ | 利用者宅から利用者宅へ向かう途中、上り下りを仕切る中央のポールに接触し転倒 | 63 | 1~ |

| | | | | |
|---|-----------|---|----|-----------------|
| | 17 | した。 | | 9 |
| 5 | 15～ 16 | お客様宅の活動に向かう途中、電気自転車で急坂を上っていた際、消防車が後方から続けて走行してきたので、路肩により通過待ちを行った。再度発進しようとしたところ、スピードが上がらず、右方向へ傾き転倒し、頭部を打って出血し、救急搬送された。 | 68 | 10 ～ 29 |
| 5 | 18～ 19 | 勤務施設内1階の食堂にて入居者が食後服薬する薬の確認作業中、介護職員が入居者が乗る車椅子を押して通りかかった際に車イスが左踝に接触し、痛みが走った。 | 53 | 50 ～ 99 |
| 5 | 14～ 15 | デイルームにて、トイレ介助をしようと車イスを押してトイレに入ろうとしたところ、先に入室しているのが分からなかったためドアを開けたところ使用中だったので、ゆっくりバックをしようとしたが、自走式だったので車イスがバックし、一瞬かわそうとしたが間に合わず、左後輪が左の足甲に乗ってしまった。 | 57 | 100 ～ 299 |
| 5 | 9～ 10 | 1件目の訪問先に自転車で向かう途中、側道を右折した時後輪が滑って転倒し、その時に左膝を強打し、強い痛みを感じた。 | 44 | 30 ～ 49 |
| 5 | 8～9 | 利用者宅から利用者宅へ大通りの歩行者ロードを自転車で移動中、後方から自転車が来たので左に寄ったところ、点字ブロックの溝に自転車の前輪が入り、滑って転倒した。歩行者ロードの左端に立てられている鉄のポールに当たると思い左手で胸をかばおうと左手を出した時ポールに激突し、左手首を骨折し、胸がポールに当たりヒビが入った。 | 61 | 10 ～ 29 |
| 6 | 9～ 10 | 訪問介護サービス中、先のお客様宅から次のお客様宅へ移動中、右折しようとした際に自動車が見え、グレーチングの上にタイヤがのった時にブレーキを掛けたため、タイヤが滑り右側に転倒し、負傷した。 | 42 | 50 ～ 99 |
| 6 | 13～ 14 | 担当のお客様宅に訪問するため、自転車にて、自転車専用レーンより交差点を左折し、歩車道の区別のない公道に入る際、道路内に4名の学生グループが歩きスマホ等を行いながら歩いているのを確認した。接触しないように距離を保ち通行していたが、すれ違い時に自転車の後輪に歩行者グループの1名が転倒して接触し、自転車も転倒した。乗っていた本人も転倒し負傷した。歩行者は直ぐその場から立 | 46 | 1～ 9 |

| | | | | |
|---|-----------|---|----|---------------|
| | | ち去っている。 | | |
| 6 | 12~ 13 | 訪問介護のヘルパーとして勤務中、電池を購入するため、利用者宅から近所のコンビニに行き、利用者宅へ自転車で戻る途中、点字ブロック上で滑って転倒した。その際に着地を誤り、一度事業所へ戻るが痛みがひかず、腫れが酷くなった。右足首の関節脱臼骨折と診断された。 | 37 | 10 ~ 29 |
| 6 | 11~ 12 | 1F利用者用フロアにて、椅子に座って書類整理をしていたところ、後方より配膳車がぶつかってきて、前方に投げた出された。その際、骨盤周辺に違和感を覚えた。 | 37 | 50 ~ 99 |
| 6 | 11~ 12 | 就業場所にて、カゴ車（物流機器）を移動中に転倒し、身体とともにカゴ車も一緒に倒れ、右腕と左腕を倒れて来たカゴ車で打撲した。 | 41 | 10 ~ 29 |
| 6 | 14~ 15 | 訪問介護サービスのため、A利用者宅からB利用者宅へ電動アシスト付自転車で移動中、狭い道路で対向する自動車と離合後、自転車のペダルを強く踏んだため自転車が急発進し、バランスを崩し、ブロック塀に自転車ごと衝突し負傷した。 | 67 | 30 ~ 49 |
| 7 | 14~15 | 施設と施設の移動の際に自転車に乗っていた。坂道を登っているときに、バランスを崩し転倒。両腕を損傷、右腕を強打し負傷した。 | 30 | 10 ~ 29 |
| 7 | 11~12 | 自転車で、利用者宅から事務所に戻る途中下り坂を走行中、風で前カゴの荷物が飛びそうになり、片手で直そうとした時、バランスを崩して転倒、左橈骨骨折、右第五中手骨骨折をした。 | 52 | 10 ~ 29 |
| 7 | 9~10 | 交差点にて自宅から勤務先に自転車で向かう途中に起きた十字路の交差点を自転車に乗って直進していたところ、交差点の左から直進してきた車と接触した。車の右バンパーと自転車が接触し自転車ごと右側に倒れる。 | 35 | 1~ 9 |
| 7 | 16~17 | 屋外危険物倉庫の室内にて作業中、別の作業を行うために慌てながら室外に出たところ、入り口付近に放置していたハンドリフトに気が付かず衝突した。ハンドリフトは所定の位置ではなく、ハンドル操作部も斜めに傾いた状態で放置されていた。衝突した際、ハンドリフトのハンドル操作部で右脇付近を打ち付けた。 | 45 | 10 ~ 29 |

| | | | | |
|---|-----------|--|----|-----------------|
| 7 | 16~17 | 狭い家の間の路地から道路に出る際に左右確認し、左に曲がろうとし、プレートの様な段差で自転車のバランスを崩し、左ハンドルに胸部打撲しそのまま転倒した。 | 54 | 100 ~ 299 |
| 7 | 7~8 | 入居者様居室でリクライニング型車椅子に全介助にて移乗して頂いたが、上手く移乗できず、リクライニング型車椅子からずり落ちそうになられた。そのためリクライニング型車椅子後方から入居者様を持ち上げようとした。指導した方法ではない方法で介助したため、グリップがろっ骨に当たり骨折したと思われる。 | 34 | 10 ~ 29 |
| 7 | 7~8 | 事務所から訪問介護先へ自転車で向かう途中、曲がり角の左側から歩行人が出てきたため、それをよけようとした際、バランスを崩して転倒し、右手首を痛めた。 | 38 | 50 ~ 99 |
| 7 | 15~ 16 | 新規契約を行うために利用者宅に向う途中、電動自転車の電源を入れずに急坂（階段）を上がろうとして、階段端の幅の狭いコンクリートの平らな部分を使って自転車を押しながら階段を上っている途中、電動自転車の重さに耐えられずふらつき、自転車と一緒に階段を5~6段落下し、左足が倒れた自転車の下敷きになり負傷した。 | 53 | 30 ~ 49 |
| 7 | 9~ 10 | 送迎時、車椅子介助にて、バックで利用者宅玄関を出るとき、玄関引き戸の段差が3.4cmあったため、車椅子のハンドルを持ち上げて段差を越えようとした際、首に痛みが出た。 | 19 | 30 ~ 49 |
| 9 | 14~ 15 | 避難訓練のため、2Fエレベーター前でエレベーターに乗る順番待ちをしている時に、後ろから介護士が押している車イスに左足首を強打される。 | 46 | 10 ~ 29 |
| 9 | 13~ 14 | 職場の駐輪場から自転車で帰宅しようとして敷地境界にあるポールとポールの間を通ろうとした際、右によりすぎて右側のポールに自転車が当たってしまい右側を下に転倒し、右手を地面についた時に、右手首を痛めた。 | 69 | 100 ~ 299 |
| 9 | 11~ 12 | 介護を行った利用者宅から次の利用者宅へ向かうため、電動アシスト自転車（26インチ、全長1,880mm、全幅585mm、ハンドルの高さ770~895mm、重量25.5kg、バッテリー容量8.9Ah）に乗り、歩道の車道側を走行中に横断歩道を渡ろうとし、赤信号だったためブレーキをかけ止まろうとした際、バランスを崩し自転車 | 73 | 10 ~ 29 |

| | | | | |
|----|-----------|---|----|-------------|
| | | ごと転倒、左膝と左手の手の平を負傷した。 | | |
| 9 | 12～ 13 | 業務終了後、帰宅時、施設内の駐輪場にて自転車を出そうとしたとき、隣の自転車のスタンドに左足を引っかけてしまい裂傷した。 | 20 | 100～ 299 |
| 9 | 15～ 16 | デイサービスの送りの時、送迎車が円滑に行く際、送迎車から家へ誘導が必要なお客様の為に、自転車でお客様宅へ向かう途中、転倒し骨折、自転車のチェーンが外れた事が原因である。 | 66 | 10～ 29 |
| 9 | 11～ 12 | ユニット浴室前で使用済みオムツパットの回収時、オムツパットの入れた袋を持ち上げた際、回収カートに袋が当たりカートが動いた、その際右足でカートを制止した為、右足首を捻り捻挫に至った。 | 65 | 50～ 99 |
| 10 | 8～9 | 当社施設内2階食堂にて、朝食後の服薬済みの空袋を回収しようと振り向いた際、真後ろにいた利用者様の車イスのフットレストに当該職員の足がぶつかり転倒。右肘から着地し、右肩、右膝も強打した。 | 53 | 50～ 99 |
| 10 | 18～ 19 | 利用者に夕食提供のためホールにて配膳作業を行っていたが、テーブルと利用者の間をすり抜けようとしたところ、利用者の車椅子の前輪に左足のつま先がひっかかり、身体が回転しながら仰向けで転倒してしまった。右側大腿骨頸部が骨折していた。 | 65 | 30～ 49 |
| 10 | 15～ 16 | デイサービス利用後、利用者を自宅へ送る際、玄関前のスロープを車いすの後方から押し上げながら登る際、段差があるため車いすを2回持ち上げたところ、左臀部に痛みを覚えた。当日夕方頃から左太ももから足先への痛みも生じ、夜間には痛みが増大した。 | 41 | 30～ 49 |
| 10 | 14～ 15 | 調査で自転車移動中、対向車の大型トラックを避けようと左へハンドルを切った際、台風による強風とトラックにあおられ、転倒した際に股間を強打。その結果左大腿骨頸部骨折、左恥骨上枝骨折、膣からの出血、排尿障害となる。 | 52 | 10～ 29 |
| 10 | 9～ 10 | 1件目訪問の利用者様宅へ自転車でむかう途中、強風にあおられて帽子を飛ばされそうになり、左手でおさえたとこ、さらに強風にあおられて自転車ごと右側へ転倒、舗装道路に左手を強くつき、右膝を強打。左手掌の痛みと腫れを生じた。 | 53 | 10～ 29 |

| | | | | |
|----|-----------|--|----|-----------------|
| 10 | 13～ 14 | 介護施設にて業務中、左膝を痛めると共に、腰椎捻挫となった。ご利用者様の送迎準備のため、施設入口に停めた車両に車椅子を積む際、誤って車両後部に左膝を強打した。また、強打による激痛のため、勢いよくうずくまった際に腰を強くひねり腰を痛めた。左膝挫傷並びに腰椎捻挫と診断された。 | 52 | 10 ～ 29 |
| 10 | 12～ 13 | 訪問介護サービスで訪問先から次の訪問先に移動中、駅近くを自転車で走行していた際、道路端に停車していた車の運転席側のドアが突然開いた。このとき、ドアに接触し、被災者は転倒し、打撲負傷した。 | 34 | 10 ～ 29 |
| 10 | 9～ 10 | 利用者の自宅へ訪問し、スーパーにて買い物を頼まれたので自転車にて走行中、大きい通りを走ってきた自転車に細い道から自分が出た瞬間、出会い頭に驚き転倒し、右足を負傷した。 | 62 | 10 ～ 29 |
| 10 | 17～ 18 | 利用者様宅から自転車で帰社途中、右折車が出て来たのでブレーキをかけたところ、台風で路面が濡れていたためタイヤが滑り転倒した。左半身に打撲と擦過創を負った。 | 57 | 50 ～ 99 |
| 11 | 8～9 | 保健福祉センターにて介護予防事業の準備で椅子を並べる為、広場左側の舞台袖から椅子39脚を乗せたポーターを出そうと引っ張り出した際、ポーターごと本人に向かって倒れ背中から腰部を強打した。 | 43 | 100 ～ 299 |
| 11 | 12～ 13 | 当方バイクは交差点で赤信号で停止後、青信号に変わったので交差点に直進で進入した。相手軽四輪は、当方の左側から赤信号の交差点に直進で進入してきて、交差点の真ん中で当方の左側面に衝突した。当方は右側に転倒して怪我をした。相手は事故を起こした交差点の一つ先の交差点の信号を見ていて、手前の交差点の信号は見ていなかったと証言している。一つ先の交差点の信号は右折の青矢印信号だったとのこと、相手は一つ先の信号だけ見ていたので、当方のバイクに気付いたのはぶつかる直前だったとのことである。 | 57 | 100 ～ 299 |
| 11 | 18～ 19 | 訪問先から自転車で帰社し、事業所内駐輪場に止めようとして左足をついて降りた時、ハンドルがぐらついて慌てて右足を着地した際に、右足腓骨にヒビが入り、受傷した。 | 44 | 30 ～ 49 |
| | | 訪問介護活動後の報告のため、自転車に乗り事務所へ向かっている途中、交差点を横断していた時、前方の自転車が急停止したため、それを避けるため、咄嗟にハン | | 50 |

| | | | | |
|----|-----------|--|----|-----------------|
| 11 | 17～ 18 | ドルをきった際、電柱にハンドルを握っていた右手指の付け根、甲部を強くぶつけてしまった。その日は、患部を湿布し自宅療養したが、翌日、痛みも治まらず、腫れてきたので受診した。 | 55 | ～ 99 |
| 11 | 11～ 12 | おやつを乗せたカートから中身を取り出し、該当ユニットの配膳車の上に載せる作業をしていた際、カートからおやつを取り出そうと前かがみになっていたところ、後方から流れてきた配膳車に腰と臀部がぶつかりその衝撃で転倒し、後頭部を打ち首に痛みを感じた。 | 64 | ～ 499 |
| 11 | 12～ 13 | 当社介護付有料老人ホーム施設2階談話室にて利用者の昼食の下膳を手伝っていた時、食器の種別ごとに分けて置く際、忙しくなって急いで慌ててしまい、体の向きを変えようとして誤って配膳用のワゴンの脚に足を引っ掛け仰向けに床に転倒したものである。 | 64 | ～ 100 299 |
| 11 | 13～ 14 | 電動自転車を利用者A宅からB宅へ移動中、B宅近くにあるスーパーの駐輪場に自転車を止めようとして、（日頃B宅で仕事をする時によく利用している）駐輪場に入る途中の坂道でバランスを崩して転倒してしまった。 | 66 | ～ 50 99 |
| 11 | 14～ 15 | 業務の為、自転車で走行中に坂道の途中で左に曲がろうとした際に転倒し、左第3、4中足骨骨折をした。 | 33 | ～ 1 9 |
| 11 | 8～9 | 第1回訪問先の業務を終え、自転車で次の訪問先に向かう途中、交差点を左折した時に左方向から来た自転車を避けようとしてバランスを崩し転倒した。転倒した際に左腕と左肩を強打し、脱臼・骨にひびが入った。相手自転車とは接触していない。 | 70 | ～ 1 9 |
| 11 | 11～ 12 | 駅近くの道路の左側を自転車で走行中、左折しようとスピードを落とした際に、後方から来た自転車が避けきれず、右後ろに接触し、転倒、左膝をついた。 | 63 | ～ 50 99 |
| 11 | 17～ 18 | 養護老人ホーム2階食堂の奥側で夕食の下膳及び片付け作業中に、食器等運搬用ワゴン車のキャスターに躓いて転倒し、右骨盤周辺を強打した。作業を中断し、早退するが、病院がすでに受付終了となっているため、翌朝、整形外科を受診した。結果、右大腿骨骨折と診断された。 | 67 | ～ 100 299 |

| | | | | |
|----|-----------|---|----|-----------------|
| 11 | 10~ 11 | 病院の訪問介護ステーションにて勤務中、訪問介護先より電動自転車に乗って事務所に戻る途中、後方の車を気にして自転車を車道左側へ寄せたところ、雨で濡れた路面に滑って自転車ごと転倒し、負傷した。 | 56 | 10 ~ 29 |
| 12 | 16~17 | サービス付き高齢者向け住宅で入居者の介護を行う際、入居者の居室入室時、フットレスト（足置き）が上がった状態の車椅子の脇を通る際にフットレスト（プラスチック）の端部に右下腿部（脛）が軽く当たったため、ズボンをめくりあげ確認したところ、すねの部分が15cmほど剥離し、皮がずれた状態で出血していた。 | 51 | 30 ~ 49 |
| 12 | 11~12 | 当社営業所デイサービス施設フロアにて提供する食事を配膳準備棚に運んで並べて厨房に戻ろうとしたときに、テーブルに座っている利用者の車イスのタイヤに足が引っ掛かり転倒し骨盤を骨折した。 | 65 | 30 ~ 49 |
| 12 | 10~11 | 職員が出入りする通路に3台の車イスが畳んで置いてあり、車イスを跨いで通ってしまい、右足を車イスのタイヤに引っ掛けて、左ひざで着地をしてしまった。 | 53 | 100 ~ 299 |
| 12 | 14~15 | サービスを終え移動の為に、電動自転車に乗る際に自転車が先行し体がついていけず、受け身を取る際に右手を道路につき右手首を骨折した。 | 62 | 50 ~ 99 |
| 12 | 20~21 | 当施設で介護職員として勤務中に、入居者が床に座っており、車椅子に移乗させようとしたとき、車椅子のサイドの金属部と入居者の体に挟まれ、左手中指を負傷した。 | 45 | 50 ~ 99 |
| 12 | 9~10 | 店内レジ付近にて、訪問介護利用者の買い物代行支援中、レジを済ませた買い物カゴを台に運んでいたところ、横から来た年配男性の押す買い物カートに左足を引っ掛けられ、左足がひざまづくように転倒し、その際に左足膝部分を強打した。なお、相手は、被災者がうずくまっている間になくなった。 | 69 | 50 ~ 99 |
| 12 | 17~18 | 利用者の買い物のケアで自転車にて移動中、角をゆっくりと左折したところ、前方から勢いよく来た自転車と接触した。こちらはスピードを出していないので止まることはできたが、バランスを崩して倒れ、咄嗟に左手をついた。 | 76 | 10 ~ 29 |
| | | 自転車で就業場所から利用者宅へ訪問中、不注意で側溝にはまり、フェンスで顔面 | | 30 |

| | | | | |
|----|-------|--|----|-----|
| 12 | 11~12 | を強打し、左膝を打撲した。 | 48 | ~ |
| | | | | 49 |
| 12 | 17~18 | お客様の車椅子を押す補助をしたあと、道路（坂道）へ後ろ向きに転倒し、尻もちをついた。 | 72 | ~ |
| | | | | 99 |
| 12 | 7~8 | 配膳車を食堂に運搬する途中、職員が前方より急いで来るのが見えたので、配膳車を止めようと左腕を出したところ、鉄柱と配膳車の隙間に腕が挟まり、骨折した。 | 68 | ~ |
| | | | | 100 |
| | | | | 299 |

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html